

第 17 回 旧 R D 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

日 時 平成 28 年 9 月 5 日 (月) 19 : 00 ~ 20 : 10

場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

主な質疑

1 . 前回の開催結果の確認について

広報について、今後の予定を教えてください。

11 月と 5 月の広報に掲載予定であると、栗東市から回答されました。

2 . 平成 28 年度第 1 回モニタリング調査結果について

住民のおひとりから、「経堂池の水を農業用水として使っていないのであれば、水質検査を簡略化してもよいのではないか」と小野自治会に提案がありました。小野自治会からは、「経堂池の水も一部用水に入っているので、検査の簡略化には応じられない。経堂池の水の安全性を確認するため、水稻栽培試験をしてほしい」との意見が出されました。

平成 13 年の栗東町 (当時) による水稻栽培試験の結果から、農業用水としては問題なく、広報にもその結果が掲載されている。その後の経堂池の水質に大きな変化はないので県として問題ないと考えていると、回答しました。

3 . 二次対策工事等の進捗状況について

改善命令を出した深堀穴の工事の際に、県は他に地下水層が破られた箇所はないと言っていた。今回、A 工区で許可より 10m 深く掘られていることがはっきりした。県は、その当時なぜそのような事態を想定できなかったのか。

平成 19 年のボーリング調査結果からすると、深さは県の想定どおりでした。その調査前となる当時においては、恐らく RD 社の言い分に疑いを持たず、そのように答えたものと思われる、と、回答しました。

鉛が検出された土は地山ではなく後から持ってきたものか。

土は RD 社が持ってきたものか、それ以前からあるものかわからないが、地山ではないと判断していると、回答しました。

4 . 工事の施工方法について

試掘により出てきた U 字側溝は、いつ頃、何のため設置されたのか。

第 2 処分場の計画図面からは、U 字側溝は確認されない。処分場設置前の宅地造成時につくられた可能性もあるが、はっきりしたことはわからないと回答しました。